

# 平成18年度事業計画書

(平成18年4月1日から平成19年3月31日まで)

社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構

## [基本方針]

社団法人医療系大学間共用試験実施機構の役割と使命は、医学・歯学等の医療関係大学において、態度・技能・知識についての評価試験を実施し、医療人としての適性と能力を全国的に一定水準に確保することにある。このために、医学・歯学等の専門領域ごとに大学・学部等間で共通の評価試験を実施するとともに、評価基準と成績の向上を目指すことにより、広く医療関係者と一般社会の協力を得ながら、国際的にも遜色のない優れた医療人の育成に貢献しようとするものである。

この基本方針を達成するため、下記事業を実施する。

## [主な事業]

### 1. 共用試験CBT関連事業

- 医学系および歯学系の共用試験試行および平成17年度に新たに追加されて蓄積されたプール問題を用いて、ランダム出題方式による医学系と歯学系大学でCBTを実施する。十分な事前説明会を行い、本法人からモニターを派遣し、適正な試験の実施を確認する。
- 受験学生のCBT試験成績は各大学ごとに返却するとともに全体成績および分析結果を公表する。試験問題と試験成績は本法人において厳重に管理し、詳細な統計分析を行う。
- CBT用プール問題の蓄積と入れ替えのために各大学に新規問題作成を依頼し、本法人でブラッシュアップ作業を行う。本法人組織においても新規問題の作成を行う。試験実施後に各試験問題の評価を行って優れたCBT問題の継続的な蓄積を行う。

### 2. 共用試験OSCE関連事業

- 医学と歯学のOSCE項目・評価表・評価基準等の標準化と改善を進めると同時に各大学のOSCE実施体制の改善を支援する。各大学の実施体制の改善を支援するとともに、OSCE実施日程を調整し、OSCE実施に関する大学間の協力を支援する。
- 各大学から提出されたOSCE成績をもとに全体の成績と統計処理結果を公表する。また、OSCEの標準評価者の育成を図る。

### 3. 調査研究・開発事業

#### 1) 調査研究事業

- 医学・歯学教育モデル・コア・カリキュラムの到達目標と共用試験内容の整合性についての各大学を対象とした調査研究を実施する。とくに臨床実習内容を診療参加型へ転換した場合に必要なコア実習内容についての調査研究を行う。

- CBT試験問題の形式と内容およびOSCE課題と評価方法等の改善のための調査・研究を行う。
- 共用試験の実施が予想されている薬学系等他の医療関係領域や、学習の種々の段階および卒業時の共用試験による評価の在り方等についての調査研究方法を検討する。

## 2) 開発事業

- CBT問題作成および問題修正ソフト、システムチェックソフト、試験実施ソフト、成績管理ソフト等についての継続的な改善を行う。CBTについてはランダム出題による不公平を解消するために難易度自動調整システム改善のための研究開発を行う。
- 各大学におけるCBT実施用サーバーおよび端末等の状況に応じて、必要なソフトを開発する。OSCE成績評価ソフトを改善するとともに、CBTとOSCEの試験成績を統合して一括管理するシステムの改善を行う。
- 将来にわたって共用試験を安全かつ簡便に実施し、成績の管理・返却を迅速に行うための電子化システム開発のための調査研究を行う。

## 4. 研修・出版・広報活動事業

### 1) 研修事業

- CBTを安定的に実施していくためには、常時3～4万題の良質な試験問題のプールとその継続的な入れ替えが必要である。このために、大学教員の問題作成能力の向上を目指して問題作成ワークショップを継続的に開催する。
- OSCEの標準的な評価を行うためには、一定水準のOSCE評価者の育成が不可欠である。このために、OSCE評価者育成ワークショップを開催する。
- 共用試験の円滑な実施のための事務系職員を対象とした研修・講習会を開催する。

### 2) 出版・広報活動事業

- 教職員の理解と学生の学習の参考とするためにCBT例題集の内容を充実させた改訂版を発行する。また、問題作成マニュアル平成18年度版を発行する。
- OSCEへの理解を深めるための標準課題・評価法を解説する案内書の改訂版を刊行する。
- 共用試験の導入に至った経緯、意義、経過を含めた「共用試験」案内冊子の改訂版（平成18年度版）を発行し、学生、医療系大学の学部・専攻科等の教職員および医療関連機関や一般社会等へ配布する。
- インターネット・ホームページURL <http://www.cato.umin.jp>を通じて、社団法人としての研究資料収集や事業活動の情報公開・提供の促進を行う。また、参加各大学・学部等との専用情報連絡網を構築する。

## 5. 国際協力事業

- 平成17年度に日本で開催された第2回日英医学教育会議における検討結果に基づき、大学間の共通評価試験について、日英間で具体的な情報交換を行うための作

業計画を立案する。さらに、諸外国との間で大学間の共通評価試験についての情報交換を行う。

- 国際的な情報発信のために、共用試験の前提となっているモデル・コア・カリキュラムを英文化し、CBT例題集の英文化作業を進める。

#### 6. 社団法人組織・活動の基盤強化をはかる事業展開

前年度に引き続き、社団法人としての組織・活動の基盤強化を図るために、理事会を核とした活動を推進する。そのために理事会の下部機関として次の委員会を設け、基盤強化を図る。

- 1) 共用試験実施委員会, 2) 共用試験事後評価解析委員会, 3) 共用試験制度・システム開発委員会, 4) 共用試験広報・推進委員会